

みなさん、おはようございます。

明日から、夏休みということで、少しお話をする時間をいただいたので聞いてください。

まずは、7月初めの平成30年7月豪雨でお亡くなりになった皆様や被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

もしかしたら、ここにいる生徒のみなさんのご家族や関係者にも被害に遭われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実は、私の女房は島根県の出身で、実家は江の川という大きな川の近くです。幸いにも大きな被害はなかったのですが、目の前の川が氾濫棄危険水位を超えて一時避難していました。それでも、無事であったことがなによりです。

なぜ、夏休み前にこんな話をするかといえば、ここにいる皆さんが小学生か中学生の頃に3.11東日本大震災がありましたよね、覚えてますか、あれは昼の時間で明るい状況でしたよね。でも、私は翌年に夜間定時制に勤務をしながら、ここで災害が発生して明かりがない状況ではいったいどうなるのか？といった強烈な不安に襲われたことを思い出したからです。もちろん全日制の勤務の時はそんなこと考えもつきませんでした。

ここ数年、日本各地で様々な自然災害が発生しています。それも想像がつかないほどの規模です。ただ、幸いにもここ千葉県では3.11以外はこれといった大きな被害はないのですが、今後いつ、どこで、このような災害に巻き込まれるかわからない状況だと思えます。

普段から夜間部の先生方は電気のつかない暗闇での災害に対して大変な心配をしています。夏休み明けには暗い中での避難訓練もあると聞いていますが、是非、日ごろから危機意識を持ち、自分自身の「命を守る最善の方法」を考えておいてください。

これから長い休みに入りますが、学校にいれば先生方の誘導で安全は保たれます。しかし、学校外では一人一人のその場での判断が重要となります。まずは自分の命を守ること、そして余裕があれば他人の命も守ることを意識してください。

最後に、この夏休み期間中に大きな災害がないことを祈るとともに、もし遭遇した時はそれに対応できる準備と危機意識を常に持っていてください。

そして8月29日に全員がこの集会で再び会えることを楽しみにしています。

有意義な夏休みを過ごしてください。